



被害者遺族の刑事裁判での苦しみを描いた人形劇。被害者参加制度への期待は高い＝11月28日、鹿児島市のかごしま県民交流センター

舞台中央に明かりがともると、「法廷」に立つ女性の操り人形が浮かび上がった。「被告人が言ったことは間違いです。なぜそんなうそをつくの。あなたを娘を殺したのよ。」人形は被害者の母親だった。影絵で表された被告が動揺したかのよう揺れる。「もうい

いでしよう」。裁判長の声が母親を制した。被害者遺族が刑事裁判で体験した苦しみを描いた人形劇「悲しみの果てに」の一場面。犯罪被害者らのグループ「クライシス」が鹿児島市で十一月、上演した。今月一日に始まった被害者や遺族が刑事裁判に参加する「被害者参

被害者参加

被害者参加制度は、犯罪被害者や遺族らの存在。「証拠品」としてしか扱われていなかっただけで、十分に反論し切れないこともある。被害者の意見や質問が加われば、供述との違いがより浮き彫りになり、事件の真相解明に役立つはず」と制

加制度」を先取りした内容だった。同制度では、参加を希望する被害者や遺族が傍聴席と法廷の仕切りを越え、検察官の横に座る。一定の範囲で被告に質問できるほか、証拠とはならないが、起訴事実や法定刑の範囲で論告や求刑も可能。殺人や傷害致死などの罪が対象で、裁判員裁判と重なる事件が多い。

悲痛な叫びを受け実現した。伊佐市出身で「全国犯罪被害者の会」幹事の林良平さん(五五)が「罪を犯していない人」と扱わなければならない「無罪推定」の意義を強調する。刑事裁判には、有罪が確定するまでは、被告を「罪を犯していない人」と扱わなければならない「無罪推定」

市民感覚反映への一歩

裁く重み

かごしま・裁判員制度まで半年

7

南日本新聞

しらす 師走 11月 先負

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

発行所：(郵便番号890-8603)鹿児島市与次郎1丁目9番33号
南日本新聞社
電話 099-813局

社会部 5124	政経部 5116
文化部 5136	運動部 5151
地域報道部 5144	写真部 5155
5144	論説委 5101
広告局 5063	販売局 5040
事務局 5052	
経営企画局 (個人情報管理の問い合わせ) 5030	
フォトサービス 5003	
総合受付 5001	
なんにち求人 223-9555	
読者室 099(813)5110	

主な紙面

社会 23 消費者ネットワーク設立
悪質商法や多重債務など消費者問題の広がりを受け、鹿児島県内の弁護士や消費生活相談員らが、被害防止や救済を目指す「消費者ネットワークかごしま」を設立。県内初の「適格消費者団体」としての認定を目指す。

経済 8 枕崎漁港水揚げ額が最高
枕崎市漁協がまとめた枕崎漁港の2008年度(07年12月～08年11月)の水揚げ額は前年より11%増え、過去最高の171億4300万円だった。かつお節の原料となる冷凍カツオの高値が水揚げ額を押し上げた。

県政内政 5 新公益法人制度スタート
公益性の高い法人が税制上の優遇措置をより受けられるようにする新しい公益法人制度がスタートした1日、鹿児島県内にある347の社団・財団法人のうち、新公益法人への移行を申請した法人はなかった。

社会 22 イモソウムシ発生410%
サツマイモの特殊病害虫イモソウムシが指宿市で確認された問題で、県は発生区域を旧指宿市の五郎ヶ岡、玉利、宮、二月田の4地区の計410%と特定した。県は「防除を進め、早期根絶を目指す」としている。

地域総 せつべとべの大王殿新装
日置市の伝統行事「せつべとべ」の先陣役・大王殿の再生事業が完了、日置八幡神社で関係